

受付は終了しました。

分析研究課題の募集：JGSS-2008

1. 募集の目的

JGSS 研究センターでは、社会科学諸分野の研究者が温めている研究課題を募集し、それぞれの研究課題を集約した全国調査および国際比較調査を実施しています。今回募集するのは、2008 年 10～12 月に実施した JGSS-2008 の分析に関する研究課題です。

本研究センターでは分析を公募することにより、調査データの活用を促進し、実証的な社会研究の発展を目指しています。優れた分析案をご提案いただければ、信頼性の高い調査データを一般公開以前に利用していただけるほか、研究に対する支援も行います。ふるってご応募ください。

2. 調査の概要

- 調査名：JGSS-2008
- 実施時期：2008 年 10～12 月
- 調査方法：面接法と留置法の併用（1 人の調査対象者に面接調査と留置調査の両方に回答してもらう形式）
- 調査対象：日本全国に在住の 20 歳～89 歳の男女から 8,000 人を層化二段抽出（ただし、留置票は 2 種類あるので、サンプルは 2 つに分割）。
- 有効回答数（回収率）：留置 A 票 2,060（58.2%）、留置 B 票 2,160（60.6%）

3. 募集内容

ホームページで公開されている調査票等の資料をもとに、JGSS-2008 の具体的な分析研究計画をご提案ください。採択された場合には、一般公開準備中にデータで分析を始めていただきます。

ただし、東アジアの比較調査 EASS のモジュール（留置 B 票の Q41～67 の大部分）は、この募集の対象外です。「分析研究課題の募集：EASS 2008」にご応募ください。また、JGSS-2008 および EASS 2008 に関してすでに以下の研究課題が採択されています。これらと重複の大きい課題は採択できませんので、ご注意ください。

すでに採択されている研究課題：2010 年 2 月 3 日更新

| 課題名 | 主に分析する設問 |
|---------------------------------|---|
| エコ行動の規定要因に関する研究 | [留置 A 票]Q48, 49, 67 |
| 知事に対する支持と適切な任期に関する研究 | [留置 A 票]Q44～45 |
| 将来に対する不安感と主観的健康感との関係に関する研究 | [面接票]問 15, [留置 A 票]Q9, 15, 33 |
| 有権者の貿易に対する態度の規定要因 | [面接票]問 17, [留置 A 票]Q51, [留置 B 票]Q25～26, 59DEF, 63 |
| 医療アクセスに関する研究 | [留置 A 票]Q15～17 |
| 子育て観に関する研究 | [面接票]問 43, [留置 A 票]Q59～61 |
| 英語能力に関する研究 | [留置 B 票]Q60 |
| 高校中退者の職業移動に関する基礎的分析 | [面接票]問 48～49 |
| 日本人の意識と行動の変化に関する研究 | 継続設問 |
| 社会意識の社会学的研究（購読新聞・宗教） | 継続設問 |
| 職業・産業コーディングの自動化に関する研究 | 方法論的アプローチ |
| 職業分類に関する研究 | 方法論的アプローチ |
| 日本アニメの視聴者分析 | [留置 B 票]Q41A |
| グローバル化の影響に関する意識と異文化との接触・交流との関係 | [留置 B 票]Q59 |
| 価値観の構造に関する研究 | [留置 B 票]Q45 |
| 国際人口移動・国際結婚に関する意識・行動の規定要因の比較分析 | [留置 B 票]Q56～57 |
| バイコットと社会参加の社会心理的研究 | [留置 A 票]Q52, 48, 53, 67 |
| 地区類型・地域指標と JGSS データのリンケージに関する研究 | 方法論的アプローチ |
| 多文化状況における社会統合に対する信頼感の影響 | [留置 A 票]Q40-42, 50, 65-66, 70DKL |
| 医療・救急体制に対する不安と社会経済的地位の関連 | [留置 A 票]Q18, 22 |
| 体罰経験の連鎖に関する分析 | [留置 A 票]Q19-1, 20-1, 21-1, 62 |
| 労働組合の賃金効果の検証 | [面接票]問 12, 40-3 |
| 国・地域別外国人の受入意識の分析 | [留置 B 票]Q53, 54, 55 |

受付は終了しました。

4. 応募資格

大学その他の研究機関の研究者、または大学院生（分野は問いません）

5. 応募方法

応募用紙に、氏名等、研究課題、想定する分析のモデル、研究に関連する参照文献、JGSS データの利用経験、これまでの社会調査の経験を明記して、下記の JGSS 研究センターまで、メールに添付して提出してください。説明のために別紙を追加していただいてもかまいません。

6. 受付期限及び提出先

- 受付期間：2009 年 6 月～2010 年 8 月まで、毎月 25 日締切で審査
（第 1 回締切 2009 年 6 月 25 日，第 2 回締切 2009 年 7 月 25 日，……）
- 提出先：〒577-8505 大阪府東大阪市御厨栄町 4-1-10 大阪商業大学 JGSS 研究センター
E-mail: jgss@daishodai.ac.jp

7. 選考方法と発表

JGSS 研究センターの運営委員会において審査を行います。審査結果は、各締切日の翌月 15 日までに応募者全員にお知らせします。

8. 採択者の義務および JGSS 研究センターからのサポート

- JGSS 研究センターの共同研究者として、嘱託研究員（無給）になっていただく必要があります（大学院生の場合は、JGSS 調査研究奨励プログラムの参加者となります）。
- センターで開催する研究会に参加いただき、分析の経過をご報告ください（旅費支給）。
- 電子メールおよび研究会での情報共有や議論を通して、分析を進めるためのサポートを受けられます。
- 学会等で研究成果を報告する際に、旅費の支給を受けられます（予算制限内で海外報告を含む）。
- センターの施設・設備が利用できます。
- 最初の成果は、『JGSS 研究論文集』（毎年 3 月に刊行、1 月に原稿締切）にご執筆ください。
論文集刊行までの間は、研究成果の発表は学会大会等での口頭報告に限り、他の雑誌等に当該研究課題の成果論文を掲載することはできません。

お問い合わせ：JGSS 研究センター（できるだけ電子メールにてお問い合わせください）

Tel：06-6785-6013/Fax：06-6785-6011

E-mail：jgss@daishodai.ac.jp

<http://jgss.daishodai.ac.jp>

受付は終了しました。

分析研究課題の募集： JGSS-2008 応募用紙

A4判で以下の各項目が網羅されていれば、枠にはこだわらなくても構いません。また、必要に応じ、枚数が増えても結構です。応募用紙は、メール添付にて送付ください。(宛て先 jgss@daishodai.ac.jp)

| | |
|----------------------------|----------|
| 氏名： | 所属・職/学年： |
| 連絡先住所： | |
| 電話： | E-mail： |
| 所属学会： | |
| 研究課題（タイトル） | |
| 想定する分析モデル（分析に必要な変数を明記） | |
| 参考文献 | |
| JGSS データの利用経験（EASS データを含む） | |
| これまでの社会調査の経験 | |